

新規事業評価調書

【砂防事業】

若宮川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	通常砂防事業 わかみや 若宮川	養父市 がきょう 舞狂	2.0億円	0.1億円	平成29年度	平成32年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家25戸、緊急輸送道路である県道、避難所である公民館、市道がある。</p> <p>そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1基 (高さ 12.0m, 延長 80.0m) [負担割合] 国・県：各50%</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①若宮川は、(一)円山川水系円山川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(養父市役所より南西へ約1.3km)である。</p> <p>②近年の降雨により溪岸の侵食が進み、倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。</p> <p>③溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②土石流による円山川の埋塞を防ぎ、沿川の安全性を確保する。</p> <p>③地元要望が強く、工事中進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家25戸があるほか、緊急輸送道路である(主)宮津養父線、避難所である舞狂公民館、市道がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

まるやま

わかみや

やぶ

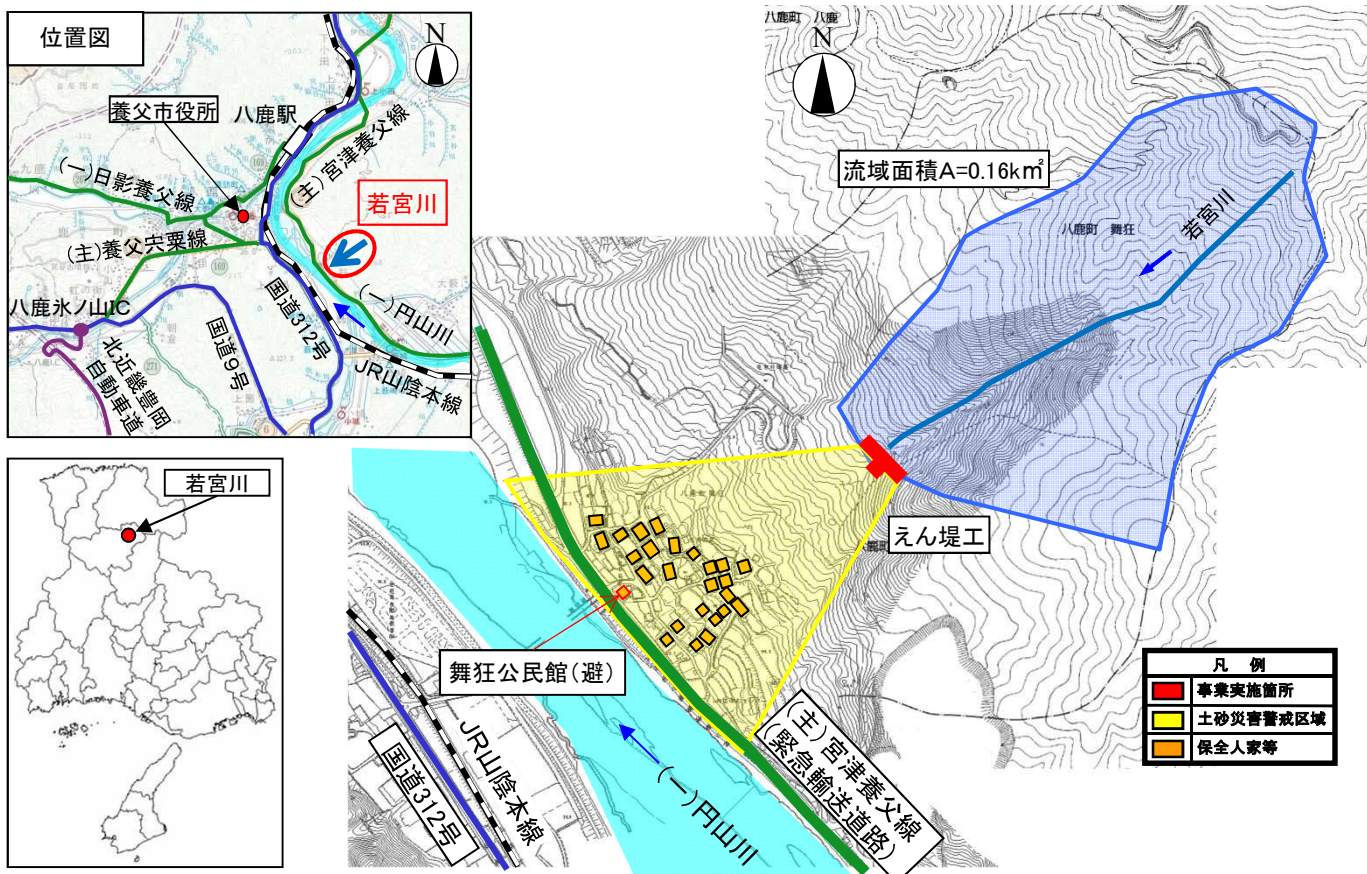
ぶきょう

(一)円山川水系 若宮川 通常砂防事業 (兵庫県養父市舞狂)

○現状の危険性: 転石や倒木が多く、流域の荒廃が著しいため、今後の降雨で土石流の発生により人家、公民館、県道等に被害のおそれがある。

○保全対象: 人家25戸、(主)宮津養父線(緊急輸送道路)(400m)、舞狂公民館(避難所)、市道

○全体事業費: 200百万円(H29~H32)



流域面積 A=0.16km²
事業内容 (全 体) えん堤1基



えん堤工 H=12.0m、L=80.0m

